

ファイル管理

ファイル管理	58
本製品の保存領域について	58
microSDメモリカードを利用する	58
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す	58
USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する	59
メモリの使用量を確認する	59
microSDメモリカードを初期化する	59
USBホスト機能を利用する	59
Files	59
データをコピー／移動する	59

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリ(内部ストレージ、内部共有ストレージ)とmicroSDメモリカード(SDカード)にデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリや各アプリが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。



memo

- ◎ アプリによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。



memo

- ◎ 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化する方法については、「microSDメモリカードを初期化する」(▶P.59)をご参照ください。
- ◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行っても本製品で再生できない場合があります。
- ◎ microSDXCメモリカードはSDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCメモリカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

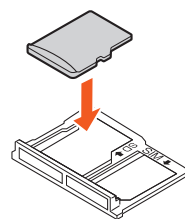
■ 取扱上のご注意

- ・ microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ・ microSDメモリカードを取り付けている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- ・ SIMカード／microSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ・ 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

microSDメモリカードを取り付ける

- 1 本製品の電源を切り、電池バックを取り外す(▶P.19)
- 2 SIMカード／microSDメモリカードトレイをまっすぐに引き出す(▶P.20)
- 3 microSDメモリカードの端子(金属)面を下にしてSIMカード／microSDメモリカードトレイにはめ込む
microSDメモリカードがSIMカード／microSDメモリカードトレイから浮かないようにはめ込んでください。



SIMカード／
microSDメモリカードトレイ

- 4 SIMカード／microSDメモリカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む(▶P.20)

- 5 電池バック・背面カバーを取り付ける(▶P.19)

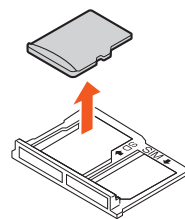


memo

- ◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

- 1 本製品の電源を切り、電池バックを取り外す(▶P.19)
- 2 SIMカード／microSDメモリカードトレイをまっすぐに引き出す(▶P.21)
- 3 microSDメモリカードをSIMカード／microSDメモリカードトレイから取り外す



SIMカード／
microSDメモリカードトレイ

- 4 SIMカード／microSDメモリカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む(▶P.21)

- 5 電池バック・背面カバーを取り付ける(▶P.19)



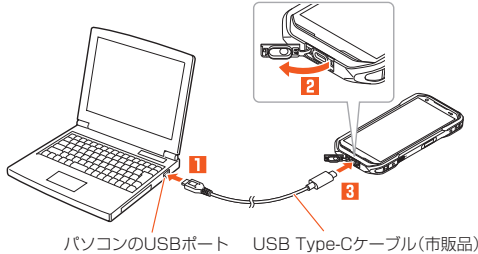
memo

- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続すると、本製品の内部ストレージ、microSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、音楽/動画データの転送も可能です。

- 1 パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)をパソコンのUSBポートに接続
- 2 本製品のUSBカバーを開ける
- 3 本製品が完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む
USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。



パソコンのUSBポート USB Type-Cケーブル(市販品)

- 4 「ファイル転送を有効にする」で「OK」をタップ

■ 内部ストレージやmicroSDメモリカード内のデータをパソコンで操作する

・あらかじめパソコンと本製品を接続してください。

- 1 パソコンから本製品を開く
内部ストレージを操作する場合は、「内部共有ストレージ」を開いてください。
- 2 パソコンを操作してデータを転送
- 3 転送終了後、USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品から取り外す
USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜いてください。

メモリの使用量を確認する

内部ストレージ、microSDメモリカードの合計容量や空き容量を確認できます。

- 1 ホーム画面を上からスワイプ→[設定]→[ストレージ]

2 このデバイス	内部ストレージの合計容量/空き容量が確認できます。
SDカード	microSDメモリカードの合計容量/空き容量が確認できます。*

* メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

microSDメモリカードを初期化する

microSDメモリカードを初期化すると、microSDメモリカードに保存されているデータ(アプリを含む)はすべて削除されます。

- 1 ホーム画面を上からスワイプ→[設定]→[ストレージ]→[このデバイス]
- 2 [SDカード]→[:]→[フォーマット]
- 3 [SDカードをフォーマット]→[完了]



memo

◎ 初期化は充電しながら行うか、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。

USBホスト機能を利用する

本製品にはUSBホスト機能が搭載されています。周辺機器接続用USBケーブル(市販品)を外部接続端子に接続することで、USB機器(市販品)を利用することができます。

- ・USBホスト機能を使用する前に本製品を充電してください。
- ・消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、本製品の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に本製品の電源が切れることがあります。

- 1 本製品の外部接続端子に周辺機器接続用USBケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを差し込む
- 2 周辺機器接続用USBケーブル(市販品)にUSB機器を接続する



memo

◎ すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。

Files

データをコピー/移動する

「Files」を利用してデータのコピー/移動などができます。

- 1 ホーム画面→[Google]→[Files]
- 2 [見る]→[内部ストレージ]/[SD カード]
- 3 フォルダを選択→コピー/移動するファイルの[:]
- 4 [移動]/[コピー]→[内部ストレージ]/[SD カード]
- 5 移動/コピー先のフォルダを選択→[ここにコピー]/[ここに移動]

Bluetooth®機能	62
Bluetooth®機能について	62
Bluetooth®機能をオンにする	62
Bluetooth®機器を登録する	62
Bluetooth®機能でデータを送受信する	62
無線LAN(Wi-Fi®)機能	62
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	62
Wi-Fi®機能をオンにする	62
Wi-Fi®ネットワークに接続する	63
Wi-Fi®機能を切断する	63
Wi-Fi®機能の詳細設定をする	63
Wi-Fi Direct®を設定する	63
テザリング機能	63
テザリングについて	63
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	63
USBテザリング機能を利用する	63
Bluetooth®テザリング機能を利用する	63

Bluetooth® 機能

Bluetooth® 機能について

Bluetooth® 機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth® 機器とワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth® 機器と通信するには、Bluetooth® 機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth® 機器のペアリング（登録）を行ってください。

memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth® 機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth® 機器との接続は保証できません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth® 標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合と考えられます。Bluetooth® 通信を行う際はご注意ください。
- ◎ Bluetooth® 通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth® 機能をオンにする

本製品でBluetooth® 機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth® 機能をオンに設定します。
他のBluetooth® 機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。
・他のBluetooth® 機器からの接続を受けるには、本製品をあらかじめ他の機器から検出可能に設定しておく必要があります（▶P.62）。

- 1 ホーム画面を上からスワイプ→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[Bluetooth]
Bluetooth® 設定画面が表示されます。

- 2 「Bluetooth を使用」を「ON」にする

memo

- ◎ Bluetooth® 機能のオン/オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- ◎ Bluetooth® 機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
- ◎ Bluetooth® 機能をオンにすると、電池の消費が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth® 機能をオフにしてください。

Bluetooth® 機器を登録する

本製品と他のBluetooth® 機器を接続するには、あらかじめペアリング（登録）を行います。
・機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

- 1 Bluetooth® 設定画面→「Bluetooth を使用」を「ON」にする
- 2 [新しいデバイスとペア設定]
検出されたBluetooth® デバイス名が一覧表示されます。
- 3 ペアリングを行うBluetooth® デバイス名を選択
- 4 画面の指示に従って操作
ペア設定コード入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth® 機器で同じペア設定コードを入力します。

memo

- ◎ Bluetooth® 機器との接続中には、他のBluetooth® 機器を登録できない場合があります。
- ◎ ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth® 機能が有効になっていることとBluetooth® 検出機能がオンになっていることを確認してください。

■ ペア設定コードについて

ペア設定コードは、Bluetooth® 機器同士が初めて通信するとき、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth® 機器で確認する暗証番号です。

memo

- ◎ ペア設定コード入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
- ◎ 接続する機器によっては、毎回ペア設定コードの入力が必要な場合があります。

他のBluetooth® 機器から検出可能にする

- 1 Bluetooth® 設定画面→「Bluetooth を使用」を「ON」にする
- 2 [新しいデバイスとペア設定]
・他のBluetooth® 機器から検出可能になります。

■ 他のBluetooth® 機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求された場合は、必要に応じて「ペアに設定して接続」または「ペア設定する」をタップするか、ペア設定コードを入力してBluetooth® 機器を認証します。

Bluetooth® 機器の接続を解除する

- 1 ホーム画面を上からスワイプ→[設定]→[接続済みのデバイス]→[すべて表示]→接続を解除するBluetooth® デバイス名の[✖]→[削除]→[このデバイスとのペア設定を解除]

Bluetooth® 機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth® 機能をオンにしてください。

Bluetooth® 機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth® 機器に送信できます。
・送信は各アプリの「」や「」などから行ってください。

Bluetooth® 機能でデータを受信する

- 1 他のBluetooth® 機器からデータ送信
ステータスバーに「」が表示されます。
- 2 ステータスバーを下にスライド
- 3 [着信ファイル]→[承諾]
ステータスバーに「」が表示され、データの受信が開始されます。
通知パネルのお知らせで受信状態を確認できます。

無線LAN (Wi-Fi®) 機能

無線LAN (Wi-Fi®) 機能について

家庭内で構築した無線LAN (Wi-Fi®) 環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



memo

- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN (Wi-Fi®) 親機 (Wi-Fi® ネットワーク) をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi® ネットワーク状況や、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどをご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN (Wi-Fi®) 機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi® 機能をオンにする

Wi-Fi® 機能を使用するには、Wi-Fi® 機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi® ネットワークを検索して接続します。

- 1 ホーム画面を上からスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]→「Wi-Fi」を「ON」にする
Wi-Fi® 機能が起動し、利用可能なWi-Fi® ネットワークがスキャンされます。
Wi-Fi® 機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo

- ◎ Wi-Fi® 機能がオンのときでもデータ通信を利用できます。ただしWi-Fi® ネットワーク接続中は、Wi-Fi® 機能が優先されます。
- ◎ Wi-Fi® ネットワークが切断されると、自動的にデータ通信に切り替わります。
- ◎ Wi-Fi® 機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi® ネットワークの電波強度は、本製品をお使いの位置によって異なります。Wi-Fi® ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi® ネットワークに接続する

- 1 ホーム画面を上からスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]→[Wi-Fi]を「ON」にする
Wi-Fi®設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。
- 2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]
 - セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)®を入力し、「接続」をタップします。
※ パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
 - 接続が完了すると、ステータスバーに「」が表示されます。



memo

- ◎ Wi-Fi®設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
- ◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用にならない場合があります。
- ◎ QRコードを利用してWi-Fi®ネットワークに接続することや、接続情報を共有することができます。

Wi-Fi® ネットワークを手動で追加する

- 1 Wi-Fi®設定画面→[ネットワークを追加]
- 2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力
- 3 セキュリティを選択
必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。
- 4 [保存]



memo

- ◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

Wi-Fi® ネットワークをQRコードで追加する

- 1 Wi-Fi®設定画面→[ネットワークを追加]の
- 2 本製品のカメラにWi-Fi®ネットワークのQRコードを写す

Wi-Fi® 機能を切断する

- 1 Wi-Fi®設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択
- 2 [削除]



memo

- ◎ 切断すると、再接続のときにパスワード(セキュリティキー)の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi® 機能の詳細設定をする

- 1 Wi-Fi®設定画面→[ネットワーク設定]
- 2 必要な項目を設定

Wi-Fi を自動的にONにする	保存済みのネットワークの検出時にWi-Fi®をONにするかどうかを設定します。
利用可能なパブリックネットワークを通知する	公衆無線LANが利用可能なときに通知するかどうかを設定します。
証明書をインストール	Wi-Fi®認証用の証明書をインストールします。
Wi-Fi Direct	▶P.63「Wi-Fi Direct®を設定する」
高度なWi-Fi設定	未接続状態のスキャン間隔、およびWi-Fiでインターネットに接続できないときにモバイルネットワークを使用するかどうかなどを設定します。

Wi-Fi Direct® を設定する

Wi-Fi Direct®対応デバイスどうしを接続するように設定できます。

- 1 Wi-Fi®設定画面→[ネットワーク設定]→[Wi-Fi Direct]
デバイス一覧画面が表示されます。
 - 接続要求を出す場合は、デバイス一覧画面から接続先を選択し、画面の指示に従って操作します。接続を切断する場合は、接続済みのデバイスをタップして切断します。
 - [::]→[デバイスの検索]と操作すると、デバイス一覧を更新できます。
 - [::]→[デバイス名を変更]と操作すると、デバイス側で表示される本製品の名前を変更できます。

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは、本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続することができる機能です。無線LAN(Wi-Fi®)機器を最大15台まで接続したり、USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと本製品を接続したり、Bluetooth®機器を最大4台まで接続して、インターネットに接続することもできます。



memo

- ◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

Wi-Fi® テザリング機能を利用する

- 1 ホーム画面を上からスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]
- 2 Wi-Fi アクセス ポイント
本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続し、セットアップと管理をします。
- 3 「Wi-Fi アクセス ポイントの使用」を「ON」にする
初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。
「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。



memo

- ◎ 操作 3 で「セキュリティ」を「なし」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

USBテザリング機能を利用する

- 1 ホーム画面を上からスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]
- 2 USB テザリング
USB経由でテザリングします。
あらかじめ「USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する」(▶P.59)を参照してパソコンと接続してください。

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。
「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。



memo

- ◎ USBテザリング機能をオフにする場合は、操作 2 で「USB テザリング」を再度タップして「OFF」にするか、USB Type-Cケーブル(市販品)を抜いてください。

Bluetooth® テザリング機能を利用する

- 1 ホーム画面を上からスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]
- 2 Bluetooth テザリング
本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。
Bluetoothペアリングについては「Bluetooth®機器を登録する」(▶P.62)を参照してください。

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。
「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

機能設定	66
設定メニューを表示する	66
ネットワークとインターネットの設定をする	66
接続済みのデバイスの設定をする	67
アプリの設定をする	67
通知の設定をする	67
電池使用量を表示する	67
カスタムボタンの設定をする	68
ストレージに関する設定をする	68
音とバイブレーションの設定をする	68
画面の設定をする	68
ユーザー補助の設定をする	69
セキュリティの設定をする	69
位置情報の設定をする	70
緊急情報と緊急通報の設定をする	70
パスワードとアカウントの設定をする	70
Googleの設定をする	70
システムの設定をする	70
デバイス情報に関する設定をする	71

機能設定

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などを行うことができます。

1 ホーム画面を上からスワイプ→[設定]

設定メニューが表示されます。

■ 設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
プロフィール	プロフィールの表示や登録を行います。	P.35
ネットワークとインターネット	Wi-Fi®や機内モード、テザリングなどネットワークについて設定します。	P.66
接続済みのデバイス	Bluetooth®やNFCなど本製品と接続する機器について設定します。	P.67
アプリ	アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどアプリに関する設定などを行います。	P.67
通知	通知の管理などを行います。	P.67
バッテリー	電池残量や使用量を表示します。また、バッテリーセーバーなどの設定ができます。	P.67
カスタムボタン	ダイレクトボタンとカメラボタン、ボディアカメラボタンの動作を設定します。	P.68
ストレージ	本製品本体内やmicroSDメモリーカードのメモリ容量の確認、microSDメモリーカードの初期化を行います。	P.68
着信音とバイブレーション	マナーモードやバイブレーション(振動)、着信音、通知音、操作音など、音に関する設定を行います。	P.68
ディスプレイ	明るさや画面の向き、フォントサイズなど、画面表示に関する設定を行います。	P.68
壁紙とスタイル	画面の壁紙やスタイルなどを設定します。	—
ホーム切替	ホームアプリを切り替えます。	P.28
ユーザー補助	ユーザー補助サービスの設定を行います。	P.69
セキュリティ	セキュリティの設定を行います。	P.69
プライバシー	権限やアカウント アクティビティなど、プライバシーに関する設定を行います。	—
位置情報	無線LAN(Wi-Fi®)機能やGPS機能などを使った位置情報に関する設定を行います。	P.70
緊急情報と緊急通報	緊急速報メールや緊急情報サービスなどの設定を行います。	P.70
パスワードとアカウント	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。	P.70
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	本製品の使用状況を1日単位で確認できます。 ・ロックを解除した回数や受信した通知の件数を表示したり、アプリごとにタイマーを設定できるなど、本製品の使いすぎを抑制します。	—
Google	Googleのアカウントおよびサービスに関する情報の確認や設定の変更などができます。	P.70
システム	表示言語の設定や日付・時刻の設定、データのバックアップや復元、初期化などを行います。	P.70
デバイス情報	本製品のバージョンなどの情報を確認します。	P.71

ネットワークとインターネットの設定をする

Wi-Fi®やホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行います。

1 設定メニュー→[ネットワークとインターネット]

ネットワークとインターネット設定メニューが表示されます。

2	インターネット	モバイルネットワークや、Wi-Fi®(▶P.62)に関する設定をします。
	通話とSMS	通話とSMSに関する情報を表示します。
	SIM	SIMカードやモバイルネットワークの詳細な設定などを行うことができます。 ・海外ローミングと通信事業者の設定については、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.80)をご参照ください。 ・アクセスポイント名の設定については、「データ通信を利用する」(▶P.46)をご参照ください。 ・5G SAの設定については、「5G SAを設定する」(▶P.66)をご参照ください。
	機内モード	▶P.66「機内モードを設定する」
	アクセス ポイントとテザリング	▶P.63「テザリング機能」
	データセーバー	データセーバーの設定を行います。 ・データセーバーを「ON」にすると、一部のアプリによるバックグラウンドでの送受信を停止することで、データ使用量を抑制します。
	VPN	▶P.66「VPNを設定する」
	プライベート DNS	セキュリティとプライバシーの保護のため、プライベート DNSを切り替えることができます。
	接続の自動調整	ネットワーク接続を自動的に管理するかどうかを設定します。

memo

◎「SIM」の「モバイルデータ」をオフにするとデータ通信が無効になり、5G/4G (LTE/WiMAX 2+)通信でのデータ通信ができなくなります。

eSIMをダウンロードする

1 ネットワークとインターネット設定メニュー→「SIM」の右にある「+」

2 「SIM をダウンロードしますか？」→「次へ」

3 事業者から提供されたQRコードをスキャン

以降は、画面の指示に従って操作してください。

■ 5G SAを設定する

1 ネットワークとインターネット設定メニュー→「SIM」

2 「5G SAを使用」を有効にする

memo

◎ 5G SA通信は、5G SAサービスエリアでご利用いただけます。5G SAのサービスエリアは順次拡大予定です。

機内モードを設定する

機内モードを有効に設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、無線LAN (Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能)がすべてオフになります。

1 ネットワークとインターネット設定メニュー→「機内モード」を有効にする

機内モードが有効に設定されると、ステータスバーに「機内モード」が表示されます。

memo

◎ 機内モードが有効の場合でも無線LAN(Wi-Fi®)/Bluetooth®機能を有効にすることができます。航空機内や病院などをご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
◎ 機内モードを有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に機内モードはオフに設定されます。
◎ 機内モードを有効に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能による通信などもオフにします。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク(VPN: Virtual Private Network)は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

・本製品は以下の種類のVPNに対応しています。

- IKEv2/IPSec MSCHAPv2
- IKEv2/IPSec PSK
- IKEv2/IPSec RSA

■ VPNを追加する

1 ネットワークとインターネット設定メニュー→「VPN」

VPN画面が表示されます。

2 「+」

3 VPN設定の各項目を設定→「保存」

VPN画面のリストに、新しいVPNが追加されます。

memo

◎ 追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNの「設定」をタップ→必要に応じてVPNの設定を変更→「保存」と操作します。削除するには、削除するVPNの「設定」をタップ→「削除」と操作します。

■ VPNに接続する

1 ネットワークとインターネット設定メニュー→「VPN」

VPN画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力→「接続」

VPNに接続すると、ステータスバーに「VPN」が表示されます。

■ VPNを切断する

1 ネットワークとインターネット設定メニュー→「VPN」

VPN画面が表示されます。

2 接続中のVPNをタップ→「切断」

接続済みのデバイスの設定をする

1 設定メニュー→[接続済みのデバイス]

接続済みのデバイス設定メニューが表示されます。

2	USB	USBケーブルでパソコンに接続しているときの動作を設定します。 ・本製品をUSBケーブルでパソコンに接続しているときに表示されます。
	新しいデバイスとペア設定	▶P.62「Bluetooth®機器を登録する」
	ペア設定済みのデバイス	以前ペアリングを行ったデバイス名が表示されます。
	接続の設定	Bluetooth ▶P.62「Bluetooth®機能」 NFC／おサイフケータイ設定 ▶P.52「NFC機能を設定する」 ▶P.52「画面ロック連動機能を設定する」 キャスト Miracast等の機器と接続し、他のデバイスと画面や音を共有します。 印刷 ▶P.67「印刷に関する設定をする」 Chromebook Chromebookと接続します。 二アパシエ近くにある他のデバイスとファイルを共有します。 Android Auto 車の画面に接続し、車内でもアプリやGoogleサービスが使えるように設定できます。
	Qualcomm® aptX™ オーディオ設定	Qualcomm® aptX™オーディオを設定します。

印刷に関する設定をする

Googleクラウドプリントを利用したプリンタの設定を行います。

- ・印刷の利用には、Google アカウントが必要です。詳しくは、「Google アカウントをセットアップする」(▶P.23)をご参照ください。

1 接続済みのデバイス設定メニュー→[接続の設定]→[印刷]

- ・「サービスを追加」をタップして、Google Playからプリンタを追加してください。

アプリの設定をする

アプリごとに通知や権限、デフォルトのアプリの設定などを行います。

1 設定メニュー→[アプリ]

アプリ設定メニューが表示されます。

2	すべてのアプリ※1	本製品にインストールされているすべてのアプリを表示できます。
	最近開いたアプリ※1	選択したアプリの詳細画面※2が表示され、アプリケーションのアンインストールなどができます。 ・Google Playなどからインストールしたアプリケーションを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリケーションは削除されます。 ・アプリケーションによっては削除できないものもあります。 ・「XX 個のアプリをすべて表示」をタップすると、本製品にインストールされているすべてのアプリを表示できます。
	通話	▶P.67「通話に関する設定をする」
	デフォルトのアプリ	デフォルトで使用するブラウザアプリやホームアプリ、電話アプリ、SMSアプリなどを設定します。
	利用時間	本製品の利用時間や、アプリの利用時間を表示します。
	使用されていないアプリ	使用されていないアプリを表示します。
	特別なアプリアクセス	本製品の機能や情報にアクセスするアプリの設定を確認／変更します。 ・「デバイスとアプリの通知」をタップすると、ホーム画面の通知(バッジ)を表示するかどうかを設定できます。

※1 表示される項目は、端末の状態によって異なります。

※2 表示される項目はアプリケーションによって異なります。

通話に関する設定をする

通話時間の確認やお留守番サービスの設定など、通話に関する設定を行います。

1 アプリ設定メニュー→[通話]

通話設定画面が表示されます。

2	通話時間	通話時間	国内での前回／累計の通話時間を表示します。
		通話時間(海外)	海外での前回／累計の通話時間を表示します。
	ロック解除中の着信画面の表示		ロック解除中の着信画面の表示を設定します。
	ステップアップ着信		▶P.35「ステップアップ着信を設定する」
	画面消灯中のライト点滅着信		スリープモード中に着信したときに、ライトの点滅でお知らせするかどうかを設定します。
	着信相手非表示		着信時に相手の名前や画像を表示しないようにするかどうかを設定します。
	不在着信通知		▶P.35「不在着信通知を設定する」
	伝言メモ		▶P.35「伝言メモを利用する」
	通話音声メモ		通話音声メモを選択して再生したり、あとから録音を設定したりします。 ・通話音声メモリスト画面で「:」をタップしたり、音声メモ再生画面で「:」をタップしたりすると、通話音声メモの保護や削除、エクスポートなどの操作が行えます。
	着信拒否		▶P.67「着信拒否を設定する」
	通話サービス設定		お留守番サービスや着信転送サービスなどのネットワークサービスを設定します。

聞こえ調整	通話中の音質を設定します。
SMS返信	SMS返信(▶P.35)のメッセージを編集したり、自動的にSMSで返信するかどうかを設定したりします。



memo

通話時間について

- ◎ 表示される通話時間は、自分から発信したときの通話時間になります。
- ◎ 通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

伝言メモ／通話音声メモについて

- ◎ 録音できるのは、伝言メモは1件あたり約60秒間、通話音声メモは1件あたり60分で、それぞれ100件までです。100件録音されている場合は、保護されていない伝言メモ／通話音声メモが、古いものから順に削除されます。
- ◎ 録音されている伝言メモ／通話音声メモがすべて保護されている場合、伝言メモでの応答や通話音声メモの録音はできません。

着信拒否を設定する

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 通話設定画面→[着信拒否]

2	電話番号指定	特定の電話番号を指定して、その電話番号からの着信やSMSを拒否します。 電話帳／履歴を引用して登録する場合 1. [＋]→[電話帳]／[通話履歴] 2. 連絡先／履歴を選択→[登録] 電話番号を入力して登録する場合 1. [＋] 2. 電話番号を入力→[登録]
	非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。
	公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。
	不明	電話番号を通知できない着信を拒否します。
	電話帳登録外	電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。
	海外ローミング中全拒否	海外利用中の全着信を拒否します。
	着信履歴を保存	拒否した着信を着信履歴に保存するかどうかを設定します。

通知の設定をする

アプリや機能の通知に関する設定を行います。

1 設定メニュー→[通知]

2	アプリの設定	各アプリからの通知を設定します。
	通知履歴	通知パネルに表示された通知の履歴を見ることができます。
	会話	優先度の高い会話や設定を変更した会話を表示できます。
	バブル	指定した相手からメッセージ着信があったことをフローティングアイコンでお知らせするかどうかを設定します。
	デバイスとアプリの通知	通知を読み取れるアプリとデバイスを設定します。
	スタート画面上の通知	スタート画面に通知を表示するかどうかを設定します。
	機密性の高い通知※1	機密性の高いコンテンツをロック画面に表示するかどうかを設定します。
	高度な通知管理	高度な通知管理の設定をします。
	緊急速報メール	緊急速報メールに関する設定を行います。
	ステータスバーにサイレント通知を表示しない	ステータスバーにサイレント通知を表示するかどうかを設定します。
	通知のスヌーズを許可	通知のスヌーズを許可するかどうかを設定します。
	アプリアイコン上の通知ドット	アイコンにドット(点)を表示してアプリの通知をお知らせするかどうかを設定します。
	点滅	不在着信などの通知を、着信ランプの点滅でお知らせするかどうかを設定します。
	拡張通知	操作の候補や返信の候補などを利用するかどうかを設定します。

※1 「セキュリティの種類」(▶P.69)を「なし」／「スワイプ」に設定している場合は表示されません。

電池使用量を表示する

1 設定メニュー→[バッテリー]

電池残量、充電状況や電池使用時間などが表示されます。

バッテリーケアモードを設定する

1 設定メニュー→[バッテリー]

2 [バッテリーケアモード]→[バッテリーケアモードを使用する]を「ON」にする

バッテリーケアモードが設定されると、電池アイコンにハートマーク「♥」が表示されます。



memo

- ◎ バッテリーケアモードをONにすると、充電が85%で止まります。ただし、電池残量は「100%」と表示されます。1回の充電での使用時間は短くなります。

カスタムボタンの設定をする

ダイレクトボタン()とカメラボタン()、ボディカメラボタン()を押したときの動作や起動させるアプリを設定します。

- 1 設定メニュー→[カスタムボタン]
- 2 [ダイレクトボタン]／[カメラボタン]／[ボディカメラボタン]
- 3 [1回押し]／[2回押し]／[長押し]→アプリを選択／その他の動作を選択

memo

- ◎ 以下の状態の場合は、ダイレクトボタンとカメラボタン、ボディカメラボタンの動作は無効となります。
 - ・ソフトウェア更新中
 - ・緊急通報時の折り返しモード中
- ◎ ダイレクトボタン／カメラボタン／ボディカメラボタンに設定しているアプリをアンインストールした場合、ダイレクトボタン／カメラボタン／ボディカメラボタンは未設定状態になります。
- ◎ 「ダイレクトボタン」の「長押し」を「明るさブースター」に設定すると、ダイレクトボタンを押している間だけ画面の明るさを最大にすることができます。

ストレージに関する設定をする

- 1 設定メニュー→[ストレージ]
- 2 このデバイス 内部ストレージの使用量と合計容量を確認できます。
 - ・項目をタップすると項目ごとのデータの使用量を確認できます。SDカード microSDメモリーカードの使用量と合計容量を確認できます。
 - ・microSDメモリーカードが認識されている時に[:]→[取り出し]と操作すると、認識を解除してmicroSDメモリーカードを安全に取り外しできます。
 - ・microSDメモリーカードが認識されていない時に[このデバイス]→[SDカード]→[:]→[マウント]と操作すると、microSDメモリーカードを認識します。

※ 表示される項目は、端末の状態によって異なります。

memo

- ◎ 内部共有ストレージの各項目(アプリ、画像、動画など)をタップすると、各項目のアプリを起動できます。
- ◎ microSDメモリーカードを認識しているときに、[このデバイス]→[SDカード]→[ファイル]と操作すると、アプリの選択画面が表示され、データの移動やコピーなどができます。

音とバイブレーションの設定をする

マナーモードの設定や着信音など、音やバイブレーションに関する設定を行います。

- 1 設定メニュー→[着信音とバイブレーション]
着信音とバイブレーション設定メニューが表示されます。
- 2

メディアの音量	▶P.68「各種音量を調節する」
通話の音量	
着信音と通知の音量	
アラームの音量	
マナーモード	▶P.30「マナーモードを設定する」
自動字幕起こし	音声を検出したときに字幕を表示するかどうかを設定できます。
着信音	着信音を設定します。
メディア	メディアの再生時に通知パネルに表示されるプレーヤーを、再生終了時に非表示にするかどうかを設定します。
バイブパターン	バイブレーションのパターンを設定します。
バイブレーションとハプティクス	着信時や通知時、タップ操作時のバイブレーションの強さなどを設定します。
デフォルトの通知音	通知音を設定します。
デフォルトのアラーム音	アラーム音を設定します。
ダイヤルパッドの操作音	タッチ操作音や充電開始音などの設定をします。
スタート画面音	
充電開始音とバイブレーション	
充電完了音とバイブレーション	
タッチ操作音	
高度な通知管理	高度な通知管理を設定します。

各種音量を調節する

- 1 着信音とバイブレーション設定メニュー→スライダを左右にドラッグして、音量を調節

memo

- ◎ マナーモード設定時に、「着信音と通知の音量」の音量を上げるとマナーモードは解除されます。「着信音と通知の音量」の音量を0にすると、マナーモード(バイブレーション)に設定されます。
- ◎ 「着信音と通知の音量」の音量を0にすると、タッチ操作音やキー操作音もオフになります。

画面の設定をする

画面の明るさの設定や文字フォントサイズの変更など、表示に関する設定を行います。

- 1 設定メニュー→[ディスプレイ]
ディスプレイ設定メニューが表示されます。
- 2

明るさのレベル	画面の明るさを設定します。
明るさの自動調節	周囲の明るさに合わせて、画面の明るさを自動調節するかどうかを設定します。
スタート画面	▶P.68「スタート画面の設定を行う」
画面消灯	スリープモードへ移行するまでの時間を設定します。
ダークモード	黒を基調とした画面に変更します。
スクリーンセーバー	▶P.68「スクリーンセーバーを設定する」
表示サイズとテキスト	画面に表示されるフォントサイズやアイテムのサイズなどを設定します。
夜間モード	画面を黄味がかった色にして、薄明かりでも画面を見やすくするように設定します。
画面をタップして点灯	画面をタップしたときに画面を点灯するかどうかを設定します。
グローブタッチモード	グローブタッチモードでは、手袋を着用した状態でもタッチを検出できるようになります。
ポケットモード	ポケットやカバンの中での誤動作防止を有効にするかどうかを設定します。
画面の自動回転	▶P.26「縦／横画面表示を切り替える」
クイック設定の表示	通知パネルにON/OFF設定アイコンを表示するかどうかを設定します。

スタート画面の設定を行う

- 1 ディスプレイ設定メニュー→[スタート画面]
- 2

プライバシー	スタート画面に通知を表示するかどうかを設定します。
スタート画面メッセージ	スタート画面に表示するメッセージを設定します。
デバイスコントロールを表示	ロック画面にデバイスのコントロールを表示するかどうかを設定します。
ロックされたデバイスから操作する	デバイスコントロールアプリで許可されている場合、ロックを解除しなくても外部デバイスを操作できるようにするかどうかを設定します。
ダブルライン時計	ダブルライン時計を表示させるかどうかを設定します。
スマートフォンを持ち上げて点灯	本製品を持ち上げる動作でディスプレイを点灯させるかどうかを設定します。

※ 表示される項目は、端末の設定条件によって異なります。

スクリーンセーバーを設定する

- 1 ディスプレイ設定メニュー→[スクリーンセーバー]
- 2 「スクリーンセーバーを使用する」を「ON」にする→スクリーンセーバーの種類を選択
- 3 [起動するタイミング]→[充電時]
「プレビュー」をタップすると、選択したスクリーンセーバーが起動します。

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー→[ユーザー補助]

2 ダウンロードしたアプリ		ダウンロードしたアプリを設定します。
TalkBack		画面上の項目を読み上げるかどうかを設定します。
選択して読み上げ		選択したテキストを読み上げるかどうかを設定します。
表示サイズとテキスト		画面に表示されるフォントサイズやアイテムのサイズなどを設定します。
色と動き		色(色補正、色反転、ダークモード)や動き(アニメーション、マウスポインタ)の設定をします。
さらに輝度を下げる		設定できる最低限の明るさよりも画面を暗くするかどうかを設定します。
拡大		すばやく3回タップする操作や◀▶(音量上ボタン)/▶◀(音量下ボタン)で拡大/縮小表示をするかどうかなど設定します。
スイッチ アクセス		外付けのスイッチなどを利用して、本製品を操作するかどうかを設定します。
ユーザー補助機能メニュー		大きな画面メニューを表示するかどうかを設定します。
バイブレーションとハプティクス		着信時や通知時、タップ操作時のバイブレーションの強さを設定します。
タイミ ングの調節	長押しする時間	ロングタッチの時間を設定します。
	操作までの時間 (ユーザー補助 タイムアウト)	操作が必要な、短い時間しか表示されないメッ セージの表示時間を設定します。
システム 操作	自動クリック (一定時間の静 止)	マウスを使用している場合、カーソルの動きが一 定時間静止したときに自動的に操作を行う よう設定します。
	システム ナビ ゲーション	戻る、ホームへの移動、アプリの切り替えの操 作について設定します。
	片手モード	片手操作用に画面を縮小するモードを設定し ます。
	電源ボタンで通 話を終了 画面の自動回転	◻(電源ボタン)で通話を終了するかどうかを 設定します。 本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示/横 表示を切り替えるかどうかを設定します。
自動字幕起こし		音声を検出したときに字幕を表示するかどうか を設定できます。
字幕の設定		字幕表示に対応したアプリ使用時に、字幕を表 示するかどうかを設定します。
音声による説明		対応する映画や番組にて、画面の表示内容の説 明を読み上げるかどうかを設定します。
音声の調 整	モノラル音声	音声をモノラルで再生するかどうかを設定しま す。
	オーディオ バ ランス	音声の左右のバランスを設定します。
ユーザー 補助機能 のショ ートカット	ユーザー補助機 能ボタンと操作	ユーザー補助機能の設定をします。
	スタート画面か らのショ ートカット	◀▶(音量上ボタン)と▶◀(音量下ボタン)を 同時に数秒ほど長く押して、ユーザー補助機能 を起動するかどうかを設定します。
テキスト読み上げの設定		▶P.70「言語と入力に関する設定をする」

セキュリティの設定をする

1 設定メニュー→[セキュリティ]

セキュリティ設定メニューが表示されます。

2	Google Play プロテクト	アプリや本製品に不正な動作がないかを定期的 にチェックするかどうか設定します。
	デバイスを探す	端末の現在地をリモートで探すかどうかを設 定します。
	セキュリティ アップデート	セキュリティのアップデートを行います。
	Google Play システム アップ デート	アップデートの確認、更新を行います。
セキュリティ の種類	なし	セキュリティを無効にし、スタート画面を非表 示にします。
	スワイプ	セキュリティを無効にし、スワイプ操作で解除 するスタート画面を表示します。
	パターン	スタート画面表示後、解除パターンを入力して 解除するセキュリティを設定します。通知表示 の設定もできます。
	ロックNo.	スタート画面表示後、ロックNo.を入力して解 除するセキュリティを設定します。通知表示の 設定もできます。
顔認証と指紋認証によるロッ ク解除	パスワード	スタート画面表示後、パスワードを入力して解 除するセキュリティを設定します。通知表示の 設定もできます。
	顔認証と指紋認証によるロッ ク解除	▶P.31「指紋認証機能」 ▶P.31「顔認証機能」
	セキュリティの詳細設定	Smart Lock 信頼できる端末や場所の登録、または持ち運び 検知機能でセキュリティを自動的に解除する 「Smart Lock」を設定します。
	デバイス管理ア プリ	デバイス管理アプリを表示または無効にしま す。
SIM カード ロック	SIM カード ロック	▶P.69「SIMカードロックを設定する」
	暗号化と認証情報	端末のデータを保護するため、本製品内部に保 存されているシステムデータはお買い上げ時 には暗号化されています。
	信頼エージェン ト	信頼できるエージェント(Smart Lockなどの 機能)を管理します。
	アプリ固定	特定のアプリの画面を固定して表示するよう に設定します(▶P.29)。 ・「アプリ固定」をオンにすると画面固定の解除 後に、スタート画面を表示するかどうかを設 定できます。
SIM の削除の 確認	SIM の削除の 確認	eSIMを消去する前に本人確認を行うように設 定します。



memo

◎ ロック解除を設定した最大試行回数まで失敗したときに、本製品を初期化するよ
うに設定できます。
設定する場合はセキュリティ設定メニュー→[設定]→[データ消去]→「データ消去
を使用する」を「ON」にする→[最大試行回数]→回数を選択、と操作してくださ
い。

SIMカードロックを設定する

SIMカードにPINコード(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力
することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」
(▶P.15)をご参照ください。

1 セキュリティ設定メニュー→[セキュリティの詳細設定]→[SIM カードロック]→[SIM カードをロック]

2 SIMカードのPINコードを入力→[OK]

■ 電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[●]

■ PINコードを変更する

SIMカードロックが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 セキュリティ設定メニュー→[セキュリティの詳細設定]→[SIM カードロック]→[SIM PINの変更]

2 現在のPINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

位置情報の設定をする

1 設定メニュー→[位置情報]→[位置情報を使用]を「ON」にする

2	最近のアクセス	位置情報を取得したアプリを表示します。 • アプリをタップするとアプリの権限設定を表示します。
	すべて表示	最近の位置情報データを使用したすべてのアプリやサービスが表示されます。
	アプリへの位置情報の利用許可	アプリごとに位置情報の使用を許可するかどうかを設定します。
	位置情報サービス	Google ロケーション履歴 Google 位置情報の精度 Google 現在地の共有機能 地震アラート 緊急位置情報サービス Wi-Fi スキャン Bluetooth のスキャン
		Googleロケーション履歴などの設定を確認／変更します。 位置情報の精度を向上させるため、Wi-Fi®やBluetooth®の電波をスキャンするかどうかを設定します。



memo

GPS機能の使用について

- 電池の消費を節約する場合は、オフにしてください。
- 周囲に建物などがなく、天空が見える場所では精度が高くなります。周囲の環境により、正しい位置情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。

緊急情報と緊急通報の設定をする

1 設定メニュー→[緊急情報と緊急通報]

2	緊急情報サービスを開く	緊急事態の共有、安全確認などの機能を利用できます。
	医療に関する情報	緊急時の初期対応で役立つ血液型などの情報を登録や確認ができます。
	緊急連絡先	緊急時の連絡先を登録したり確認したりすることができます。
	緊急 SOS	緊急SOSに関する設定を行います。
	災害情報アラート	周辺の自然災害や公衆衛生危機に関する通知を受け取るかどうかを設定します。
	緊急位置情報サービス	緊急通報番号に発信するかメッセージを送信したときに、緊急位置情報サービス(ELS)から緊急通報の担当者へ、位置情報を自動的に送信するかどうかを設定します。
	地震アラート	地震アラートに関する設定を行います。
	緊急速報メール	緊急速報メールに関する設定を行います。

パスワードとアカウントの設定をする

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

- 同期するには、本製品でGoogle アカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、または自動同期するように設定できます。

1 設定メニュー→[パスワードとアカウント]

パスワードとアカウント設定メニューが表示されます。

2 同期の設定をするアカウントを選択→[アカウントの同期]

3 同期するサービスを「ON」にする



memo

- パスワードとアカウント設定メニュー→[アプリデータを自動的に同期する]で、自動同期の有効／無効を切り替えることができます。

アカウントを追加／削除する

■ アカウントを追加する

1 パスワードとアカウント設定メニュー→[アカウントを追加]

2 追加するアカウントの種別を選択

3 画面の指示に従って操作

■ アカウントを削除する

1 パスワードとアカウント設定メニュー→削除するアカウントを選択

2 [アカウントを削除]→[アカウントを削除]



memo

- 他のアプリで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、データの初期化(▶P.71)が必要です。

Googleの設定をする

Googleのアカウントおよびサービスに関する情報の確認や設定の変更などができます。

- Google設定の詳細については、Google設定メニュー→[?]と操作してヘルプをご確認ください。

1 設定メニュー→[Google]

Google設定メニューが表示されます。

2 各項目を設定

システムの設定をする

1 設定メニュー→[システム]

システム設定メニューが表示されます。

2	言語と入力	▶P.70「言語と入力に関する設定をする」
	ジェスチャー	カメラをすばやく起動 システム ナビゲーション スマートフォンを持ち上げて点灯 片手モード 電源ボタンを長押し
		□(電源ボタン)を2回押してカメラを起動するかどうかを設定します。 戻る、ホームへの移動、アプリの切り替えの操作について設定します。 本製品を持ち上げる動作でディスプレイを点灯させるかどうかを設定します。 片手操作に画面を縮小するモードを設定します。 □(電源ボタン)を長押ししたときにGoogleアシスタントを起動するかどうかなどを設定します。
	日付と時刻	▶P.71「日付と時刻の設定をする」
	自動再起動	設定した時刻に再起動させるかどうかを設定します。
	バックアップ	Google One バックアップへのバックアップに関する設定をします。
	システム アップデート	▶P.84「ソフトウェアを更新する」
	リセット オプション	Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット アプリの設定をリセット ダウンロードされた eSIM を消去 全データを消去(出荷時リセット)
		すべてのネットワークの設定をリセットします。 無効化されているアプリや権限のすべての制限などがリセットされます。 ダウンロードされたeSIMを消去します。 ▶P.71「本製品を初期化する」
	近接センサー感度補正	近接センサーの感度を補正します。

言語と入力に関する設定をする

1 システム設定メニュー→[言語と入力]

2	言語	日本語と英語の表示を切り替えます。 • 起動中のアプリが終了する場合があります。
	アプリの言語	アプリごとに言語を設定します。
	画面キーボード	Gboard Google 音声入力
		Gboardに関する設定を行います。 Google音声入力に関する設定を行います。
	物理キーボード	画面キーボードの使用 キーボードショートカット
		物理キーボードが有効になっていても、画面上の仮想キーボードを表示するかどうかを設定します。 物理キーボードで使用可能なショートカットを表示します。
	音声入力	Google音声入力に関する設定を行います。
	テキスト読み上げの設定	優先するエンジン 言語 音声の速度 音の高さ
		Googleテキスト読み上げエンジンの設定ができます。 Google Playから標準装備以外の言語に対応した音声データをインストールすることもできます。 「[?]」をタップすると、読み上げの音量の増幅や、言語の検出、音声データのインストールなどを行えます。 テキストを読み上げる言語を設定します。 スライダを左右にドラッグして、音声の速度と音の高さを調節します。 「再生」をタップすると再生します。 「リセット」をタップすると「音声の速度」「音の高さ」の設定を標準に戻します。
	スペルチェック	スペルチェッカーを使用するかどうかを設定します。 • 対応するキーボードアプリをインストールして利用できます。
	単語リスト	単語を登録できます。
	ポインタの速度	ポインティングデバイス使用時の、ポインタの反応速度を設定します。

※ 表示される項目は、画面によって異なります。



memo

- ◎ テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声合成エンジンのインストールが必要な場合があります。また、テキスト読み上げは「言語」が「日本語」の場合には利用できないことがあります。
- ◎ microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ソフトウェアアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

日付と時刻の設定をする

1 システム設定メニュー→[日付と時刻]

日付と時刻設定メニューが表示されます。

2	日時を自動的に設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正するかどうかを設定します。
	日付	▶P.71「日付を設定する」
	時刻	▶P.71「時刻を設定する」
	タイムゾーンを自動的に設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的に補正するかどうかを設定します。
	タイムゾーンの設定に位置情報を使用	タイムゾーンの設定に位置情報を使用します。
	タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。
	言語／地域で一般的な形式を使用する	時刻の表示形式に言語／地域のデフォルト設定を使用するかどうかを設定します。
	24時間表示	選択すると24時間表示、解除すると12時間表示となります。 ※ アプリによっては、対応されない場合があります。



memo

- ◎ 「日時を自動的に設定」をオンにするとネットワークから日付や時刻が自動で設定されます。お買い上げ時は「日時を自動的に設定」がオンに設定されています。
- ◎ 日付、時刻、タイムゾーンの手動設定をするには、あらかじめ「日時を自動的に設定」「タイムゾーンを自動的に設定」をオフにする必要があります。
- ◎ 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。日付と時刻設定メニュー→[タイムゾーン]→[地域]→設定するタイムゾーンを選択、と操作して、タイムゾーンを設定することができます。

日付を設定する

1 日付と時刻設定メニュー→[日付]

2 カレンダー表示で日付を選択

3 [OK]

時刻を設定する

1 日付と時刻設定メニュー→[時刻]

2 時計表示で時間と分を選択

「24時間表示」をオフにしている場合は、「午前」／「午後」をタップして切り替えます。

3 [OK]

本製品を初期化する

1 システム設定メニュー→[リセット オプション]

2 [全データを消去(出荷時リセット)]→[すべてのデータを消去]→[すべてのデータを消去]

- ・スタート画面の設定によっては、セキュリティ解除が必要な場合があります。
- ・eSIMをダウンロードしている場合は「ダウンロードされた eSIM を消去」が表示されます。eSIMを消去する場合はチェックを入れてください。



memo

- ◎ データの初期化を実行すると内部ストレージのすべてのデータが消去されます。データの初期化を実行する前に内部ストレージのデータをバックアップすることをおすすめします。
- ◎ 設定メニューの以下の項目は、データの初期化を実行してもリセットされません。
 - ・SIMカードロック
- ◎ 本製品を初期化すると、デジタル著作権管理(DRM)コンテンツのライセンス情報が削除され、コンテンツの再生ができなくなる場合があります。

デバイス情報に関する設定をする

本製品のバージョンなどの情報を確認します。

1 設定メニュー→[デバイス情報]

2	デバイス名	デバイス名を変更できます。
	電話番号(SIM スロット 1)／(SIM スロット 2)	電話番号を確認できます。
	法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
	認証情報	認証情報を確認できます。
	SIM のステータス(SIM スロット 1)／(SIM スロット 2)	SIMのステータスを確認できます。
	モデル	バージョンや各番号を確認できます。
	IMEI(SIM スロット 1)(Primary)／(SIM スロット 2)	
	Android バージョン	
	IP アドレス	
	Wi-Fi MAC アドレス	
	デバイスの Wi-Fi MAC アドレス	
	Bluetoothアドレス	
	稼働時間	
	ビルド番号	
	使用状況に関するデータ利用	京セラ及び京セラから委託を受けたものによる使用状況に関するデータの利用を許可するかどうかを設定します。

auネットワーク

auのネットワークサービス	74
auのネットワークサービスについて	74
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	74
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	74
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	74
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	75
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	75
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	77
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	77
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	77
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	77

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

	サービス	参照先
標準サービス	+メッセージ(SMS)	P.42
	着信お知らせサービス	P.74
	着信転送サービス	P.74
	発信番号表示サービス	P.74
	番号通知リクエストサービス	P.75
有料オプションサービス*	お留守番サービスEX	P.75
	三者通話サービス	P.77
	割込通話サービス	P.77
	迷惑電話撃退サービス	P.77
	通話明細分計サービス	P.77

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、au Style/auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(<https://www.au.com/>)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

- ◎ 「着信お知らせサービス」を利用するには、お留守番サービスEXの無応答・話中転送を設定してください(▶P.75)。
※ 有料オプションサービスにご契約されていない場合も設定を行ってください。
- ◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が19桁以上の場合にはお知らせしません。
- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大100件です。
- ◎ 着信があったから約168時間経過後でもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービス総合案内(▶P.75)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
- ◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

memo

- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
- ◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.75)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- ◎ au国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話事業者でも転送できない場合があります。

ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※ 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※ お客さまのご負担となります。 ※ 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答・話中転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

- 1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][2][2]→[📞]
- 2 ガイダンスに従い転送先電話番号を入力
- 3 ガイダンスに従い操作

memo

- ◎ 無応答・話中転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][2][4]→[📞]
- 2 ガイダンスに従い転送先電話番号を入力
- 3 ガイダンスに従い操作



memo

- ◎ フル転送を設定している場合は、お客さまの本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを停止する

- 1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][2][0]→[📞]



memo

- ◎ 着信転送サービスを停止すると、お留守番サービスも停止します。お留守番サービスを再度ご利用する方法は「お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)」(▶P.75)をご参照ください。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客さまの電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客さまの端末のディスプレイに表示したりするサービスです。

お客さまの電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客さまの電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。



memo

- ◎ 発信者番号(お客さまの電話番号)はお客さまの大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気をつけください。
- ◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客さまの電話番号が表示されないことがあります。
- ◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」 (Private number)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」 (Pay Phone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」 (Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

- 1 ホーム画面を上へスワイプ→[設定]→[アプリ]→[通話]
- 2 [通話サービス設定]→「発信者番号通知を許可」を有効にする



memo

- ◎ 電話をかけるときに「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知を許可」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
- ◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知を許可」をオンにしても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
- ◎ 「発信者番号通知を許可」をオフにしても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

- ◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- ◎ お留守番サービス(▶P.75)、着信転送サービス(▶P.74)、割込通話サービス(▶P.77)、三者通話サービス(▶P.77)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.77)を同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ サービスの開始・停止には、通話料がかかります。

番号通知リクエストサービスを開始する

- 1 ホーム画面→[●]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][8][1]→[●]

memo

- ◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客さまの電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・公衆電話、国際電話
 - ・SMS
 - ・その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

- 1 ホーム画面→[●]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][8][0]→[●]

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

■ お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.66)を有効に設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- ・本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- ・お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.75)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて
お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで ^{*1}
お預かりできる件数	100件まで ^{*2}
1件あたりの録音時間	3分まで

- ^{*1} お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
^{*2} 件数は伝言とボイスメール(▶P.75)の合計です。101件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわらず、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。 伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

お留守番サービスEXに加入中の場合、総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

- 1 ホーム画面→[●]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1]→[●]

- 2 ガイダンスに従って操作

応答できない電話を転送する(無応答・話中転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話をお留守番サービスに転送します。

- 1 ホーム画面→[●]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1][1]→[●]

memo

- ◎ 無応答・話中転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 ホーム画面→[●]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1][2]→[●]

memo

- ◎ フル転送を設定している場合は、お客さまの本製品は呼び出されません。

お留守番サービスを停止する

- 1 ホーム画面→[●]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][2][0]→[●]

memo

- ◎ お留守番サービスを停止すると、着信転送サービスも停止します。着信転送サービスを再度ご利用する方法は「着信転送サービスを利用する(標準サービス)」(▶P.74)をご参照ください。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

- 1 お留守番サービスで留守応答
 - ・かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客さまが設定された応答メッセージで応答します(▶P.76「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)。
 - ・電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作2に進むことができます。
- 2 伝言を録音
録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。
- 3 「#」を押して録音を終了
録音終了後、ガイダンスに従って次のボタン操作ができます。
「1」: 録音した伝言を再生して、内容を確認する
「9」: 録音した伝言を消去して、取り消す
「✕」: 録音した伝言を消去して、録音し直す
- 4 電話を切る

memo

- ◎ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau/UQ mobile電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

- 1 ホーム画面→[●]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][6][1][2]+相手の方のau/UQ mobile電話番号を入力→[●]
- 2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS(「伝言お知らせ」と表示)でお知らせします。

memo

- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は100件です。
- ◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

- 1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1][7]→[📞]
「1」をロングタッチ→[OK]と操作するか、ホーム画面を上からスワイプ→[設定]→[アプリ]→[通話]→[通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[伝言メッセージ再生]→[OK]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
- 2 ガイダンスに従ってボタン操作
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤル」をタップして表示します。
「1」: 同じ伝言をもう一度聞く
「7」: 再生済みの伝言をすべて消去
「9」: 伝言を消去
「0」: 伝言再生中の操作方法を聞く
「#」: 次の伝言を聞く
「*」: 前の伝言を聞く
- 3 



memo

- ◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.75)も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容の確認／変更などの設定を行うことができます。

- 1 ホーム画面を上からスワイプ→[設定]→[アプリ]→[通話]
 - 2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[応答内容変更]→[OK]
ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1][4]→[📞]と操作しても設定できます。
- すべてお客さまの声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)
- 3 [1]→[1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤル」をタップして表示します。
- 電話番号の代わりに読み上げるお客さまのお名前を録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)
- 3 [1]→[2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤル」をタップして表示します。
- 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合
- 3 [3]→応答メッセージを確認→
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤル」をタップして表示します。
- 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)
- 3 [1]→[3]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤル」をタップして表示します。



memo

- ◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- ◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
- ◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って[2]→[1]と操作すると標準メッセージに戻すことができます。
- ◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って[2]→[4]と操作すると標準メッセージに戻すことができます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。

あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておく、お客さまが録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。

詳しくは、「応答メッセージの録音／確認／変更をする」(▶P.76)をご参照ください。

- 1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][6][1][0]→[📞]
- 2 ガイダンスを確認→



memo

- ◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
- ◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

伝言の蓄積停止を解除する

- 1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][6][1][1]→[📞]
- 2 ガイダンスを確認→



memo

- ◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客さまの本製品以外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

- 1 090-4444-XXXXに電話をかける
上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守番転送設定(フル転送)開始	1418
留守番転送設定(フル転送)停止	1419
留守番再生	1415
留守番総合案内	1416

- 2 ご利用の本製品の電話番号を入力
- 3 暗証番号(4桁)を入力
暗証番号については「各種暗証番号／PINコードについて」(▶P.15)をご参照ください。
- 4 ガイダンスに従って操作



memo

- ◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

- 1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1][9]
[1]→[📞]
英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。



memo

- ◎ ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

日本語ガイダンスへ切り替える

- 1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1][9]
[0]→[📞]
日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例:Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

- 1 Aさんと通話中の電話画面→[通話相手を追加]→Bさんの電話番号を入力**
通話中に電話帳や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。
- 2 [👤]**
通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさん呼び出します。
- 3 Bさんと通話**
Bさんが電話に出ないときは[🔒]をタップするとAさんとの通話に戻ります。
Bさんとの通話を保留にしてAさんとの通話に戻るには、「通話相手を切替」をタップします。
- 4 [グループ通話]**
3人で通話できます。
[👤]をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。



memo

- ◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
- ◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- ◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客さまでも割り込みはできません。
- ◎ 三者通話の2人目の相手の方として、割込通話サービスをご利用のau/UQ mobile電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。



memo

- ◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、修理からのご返却時またはSIMカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

- 1 ホーム画面を上をスワイプ→[設定]→[アプリ]→[通話]**
- 2 [通話サービス設定]→[割込通話]**
- 3 「割込通話」を「ON」にする**
ホーム画面→[👤]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][5][1]→[👤]と操作しても開始できます。



memo

- ◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.75)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.77)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

割込通話サービスを停止する

- 1 ホーム画面を上をスワイプ→[設定]→[アプリ]→[通話]**
- 2 [通話サービス設定]→[割込通話]**
- 3 「割込通話」を「OFF」にする**
ホーム画面→[👤]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][5][0]→[👤]と操作しても停止できます。

割込通話を受ける

例:Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

- 1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる**
- 2 着信画面→「電話に出る」を右にスライド**
Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「通話相手を切替」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。



memo

- ◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
- ◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

- 1 ホーム画面→[👤]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][4][2]→[👤]**
- 2 [👤]**



memo

- ◎ 登録できる電話番号は30件までです。
- ◎ 電話番号の通知のない着信についても登録できます。
- ◎ 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかけになった電話番号への通話は、お客さまのご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- ◎ 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・SMS

登録した電話番号を全件削除する

- 1 ホーム画面→[👤]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][4][9]→[👤]**
- 2 [👤]**

通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

- 1 ホーム画面→[👤]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][3][1]+相手先電話番号を入力→[👤]**
- 2 [👤]**



memo

- ◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- ◎ 発信者番号を通知する/しないを設定する場合は、「186」/「184」を最初にダイヤルしてください。
- ◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
-------	----

海外利用

海外利用	80
au世界サービスについて	80
海外利用に関する設定を行う	80
渡航先で電話をかける	80
渡航先で電話を受ける	80
お問い合わせ方法	80
海外でのご利用上の注意	81

海外利用

au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM/UMTS/LTEネットワークでご利用いただけます。

- ・いつもの電話番号のまま、海外で通話・SMS・データ通信がご利用いただけます。
- ・特別な申し込み手続きや月額料の定額は不要で、ご利用料金は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。
- ※ 新規ご加入の場合、翌日から海外でのご利用が可能です。ただし、オンラインショップでご加入の場合、日本国内で通話(発信)した翌々日よりご利用が可能です。
- ・ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

■ 対象エリア・料金を知る

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/>

■ 海外でのデータ通信ご利用方法と適用データ通信料金について

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/check/>

■ 海外でご利用のお客さま(※渡航前に必ずご確認ください。)

https://www.au.com/information/notice_mobile/global/



memo

- ◎ 日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- ◎ 海外で着信した場合でも着信通話料がかかります。
- ◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
- ◎ 各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。

海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

- ・海外で電源をオンにすると、海外の事業者のネットワークで通話とSMSがご利用いただけます。
- ・データ通信を行う場合は「ローミング」を有効に設定します。

データ通信を利用する

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]

2 「ローミング」を有効にする



memo

- ◎ 5G NETまたは5G NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。
- ◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
- 世界データ定額
<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/sekai-data/>
- 海外ダブル定額
<https://www.au.com/mobile/charge/data-option/kaigai-double-teigaku-lte/>

海外でVoLTEを利用する

海外でVoLTEを利用できるように設定します。

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]

2 「ローミング」を有効にする

3 「優先ネットワークの種類」→「5G(推奨)」／「4G」のいずれかを選択

※ お買い上げ時は「5G(推奨)」になっています。



memo

- ◎ 5G NETにご加入されていない場合は、VoLTEを利用できません。
 - ◎ 「5G(推奨)」に設定していても、「5G」エリア外では自動的に「4G」「3G」のネットワークに切り替わります。
 - ◎ VoLTEが利用できる国・地域についてはauホームページをご参照ください。
 - ◎ 海外で通話やデータ通信の品質が悪い場合は、「3G」にすると改善されることがあります。ただし、日本国内では常時「5G(推奨)」で利用してください。
 - ◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
- <https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/volte/>

渡航先で電話をかける

au世界サービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

1 ホーム画面→[☎]→「ダイヤル」タブをタップ

2 「0」をロングタッチ

「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 相手の国番号を入力

4 地域番号(市外局番)を入力

地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

5 相手の電話番号を入力→[☎]

例: 渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかけの場合

+ 81(国番号)3(市外局番)1234XXXX(相手の電話番号)

例: 渡航先(アメリカ)からアメリカの「123-456-XXXX」にかけの場合

+ 1(国番号)123(市外局番)456XXXX(相手の電話番号)



memo

- ◎ 電話をかける相手の方が日本の携帯電話の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。
 - ◎ 渡航先では、一部特番などかけられない電話番号があります。
 - ◎ 国番号についてはauホームページをご参照ください。
- <https://www.au.com/mobile/service/global/call/country-code/>

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話を受けることができます。



memo

- ◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からであっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信通話料がかかります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

受付時間: 24時間

1 ホーム画面→[☎]→「ダイヤル」タブをタップ

2 「0」をロングタッチ

「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 「81366706944」を入力→[☎]

■ 一般電話からのお問い合わせ方法

詳しい情報はauホームページの「海外からのお問い合わせ番号」をご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/global/inquiry/>



memo

- ◎ 渡航先でご利用いただけない場合、本製品の電源をオフ／オン(再起動)することでご利用可能となる場合があります。

海外でのご利用上の注意

本製品を盗難・紛失したら

- ・海外で本製品もしくはSIMカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは、「海外からのお問い合わせ」(▶P.80)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・データ通信料もお客さまの負担になりますのでご注意ください。
- ・本製品に挿入されているSIMカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては「SIMカードロックを設定する」(▶P.69)をご参照ください。

auネットワークサービスに関するご注意

- ・以下のサービスは、au世界サービス「VoLTE」利用中以外はご利用いただけません。「VoLTE」利用中であっても、渡航先の通信事情によりご利用いただけない場合があります。
 - ・着信転送サービス(標準サービス)の無応答転送・話中転送
 - ・お留守番サービスEX(オプションサービス)
 - ・三者通話サービス(オプションサービス)*
 - ・割込通話サービス(オプションサービス)
 - ・通話明細分計サービス(オプションサービス)
- ・発信番号表示サービス(標準サービス)は、海外では電話番号が通知されない場合があります。海外では「発信者番号通知」の機能は無効になります。
- ・番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- ・渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- ・迷惑電話撃退サービス(オプションサービス)は、au世界サービス「VoLTE」利用中以外は受信拒否リストへの登録ができません。また、日本で登録した番号でも海外では迷惑電話撃退サービスが動作せず通常の接続となる場合があります。

※ au世界サービス「VoLTE」利用中であっても、グアム、サイパンではご利用いただけません。

付録.....	84
ソフトウェアを更新する.....	84
故障とお考えになる前に.....	84
アフターサービスについて	85
遠隔操作サポート	85
位置検索サポート	85
SIMロック解除	85
周辺機器.....	86
正面スクリーン(KYG03KGA)の交換のしかた	86
USBカバー(KYG03WHA)の交換のしかた.....	86
主な仕様.....	87
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	87
FCC Notice	88
輸出管理規制	88
知的財産権について	88

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最新のパフォーマンスやセキュリティ向上を実現し、最新の拡張機能を入手できます。
ソフトウェア更新が必要な場合、本製品では自動的に最新ソフトウェアを取得し、深夜時間帯に更新を実施する場合がございます。
お客さまにより快適に本製品をご使用いただくため、ご購入後も機能・操作性・セキュリティの向上を目的として、定期的にソフトウェアの更新による品質向上を行っております。

ご利用上のご注意

- モバイルデータ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、ご利用の回線の契約内容に応じたデータ通信料が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生しますので、ご自宅等のWi-Fi®環境がご利用可能な場合はWi-Fi®回線へ接続した上で、ソフトウェア更新することをおすすめします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどお客さまにご案内させていただきます。詳細内容につきましては、au Style/auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なお客さまに、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、au Style/auショップもしくはトヨタ au取扱店(一部ショップを除く)にお持ちください。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1 ホーム画面を上からスワイプ→[設定]→[システム]→[システム アップデート]

以降は、画面の指示に従って操作してください。



- ◎ ご利用のWi-Fi®回線の状態によっては、利用可能なネットワークの自動検索を行い、Wi-Fi®からモバイルによる通信に切り替わることがあります。この場合、当初意図したものとは異なるデータ通信料が発生することがありますのでご注意ください。
- ◎ ソフトウェア更新/OSアップデート後に元のバージョンに戻すことはできません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に、使い方サポートアプリのかんたん診断をお試しくださいます。

■かんたん診断は使い方サポートアプリから無料でご利用可能です。

診断結果に応じた解決方法もご確認いただけます。
使い方サポートアプリのDLはこちらから。
<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.kddi.newsupport&hl=ja>



※ 使い方サポートアプリの「診断」⇒「かんたん診断」

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.21
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.19
	電池パックの端子が汚れていませんか？	—
	□(電源ボタン)を充電ランプが点灯するまで長く押ししていますか？	P.22
充電ができない	指定の充電用機器(別売)は正しく接続されていますか？	P.21
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.19
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.21
	指定の周辺機器(アダプタなど)で充電をしていますか？	P.21
指紋が認証されない	指紋センサー部のキズの確認や汚れをふき取る。	P.31
	指の指紋が汚れ、濡れ、乾燥していないか確認する。	P.31

こんなときは	ご確認ください	参照
ワイヤレス充電台(市販品)で充電ができない	本製品をワイヤレス充電台(市販品)の充電可能な範囲に正しい向きで置いてありますか？	P.22
	本製品とワイヤレス充電台(市販品)の間に異物がありますか？	P.22
	ワイヤレス充電台(市販品)と専用のACアダプタは正しく接続されていますか？	P.22
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.22
	背面カバーが正しく取り付けられていますか？	P.19
	電池が寿命で膨れると、ワイヤレス充電ができない場合があります。電池を交換してください。	—
ワイヤレス充電台(市販品)で充電が完了しない	充電完了後もインフォメーションLED等は消灯しませんが、異常ではありません。本体の表示をご確認ください。	P.22
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電時間が長くなる場合があります。	—
操作できない/画面が動かない/電源が切れない	□(電源ボタン)と□(音量上ボタン)を同時に1秒以上長く押すと強制的に電源を切り再起動することができます。	P.22
	電源が勝手に切れる	電池パックは十分に充電されていますか？
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池パックは十分に充電されていますか？	P.21
	電話がかかけられない	電源は入っていますか？
電話がかかってこない	SIMカードが挿入されていますか？	P.20
	電話番号が間違っていないですか？(市外局番から入力していますか？)	P.34
	電話番号入力後、□をタップしていますか？	P.34
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.66
	電波は十分に届いていますか？	P.29
	サービスエリア外にいませんか？	P.29
	電源は入っていますか？	P.22
	SIMカードが挿入されていますか？	P.20
	「着信拒否」が設定されていませんか？	P.67
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.66
「□」(圏外)が表示される	「着信転送サービス」が設定されていませんか？	P.74
	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.29
	内蔵アンテナ付近を指などで覆っていませんか？	P.18
Wi-Fi®がつかない	SIMカード以外のカードが挿入されていませんか？	P.20
	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	P.29
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.62
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	—
ディスプレイ/着信ランプは点灯/点滅するが着信音が鳴らない	「着信音と通知の音量」が最小に設定されていませんか？	P.68
	マナーモードに設定されていませんか？	P.30
ボタン/タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.22
	スタート画面のセキュリティが設定されていませんか？	P.69
タッチパネルで意図した通りに操作できない	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.22
	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.26
充電してくださいなどと表示された	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.22
	電池残量がほとんどありません。	P.21
電話が勝手に応答する	「伝言メモ」が設定されていませんか？	P.35
	十分に充電されていますか？	P.21
電池パックを利用できる時間が短い	・赤色の充電ランプが緑色に変わるまで、充電してください。	—
	電池パックが寿命になっていませんか？	P.11
	「□」(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.29
	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.29
電話をかけたときに受話部(レシーバー)から「ブーッ、ブーッ、ブーッ…」と音がしてつかない	回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのをおかけ直しください。	—
	ディスプレイの照明がすぐに消える	「画面消灯」が短く設定されていませんか？
画面照明が暗い	「明るさのレベル」が暗く設定されていませんか？	P.68
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって画面の輝度を落とす場合があります。	—
相手の声の聞こえない/聞き取りにくい	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.34
	受話部(レシーバー)/スピーカーを耳でふさいでいませんか？	P.18
	受話部(レシーバー)/スピーカーが耳の穴に当たるようにしてください。	—

こんなときは	ご確認ください	参照
イヤホンマイクのマイクが使えない	コネクタが正しく挿入されていますか？ 外部接続端子の奥までしっかり挿入してください。	P.23
動作が遅くなった／アプリの動作が不安定になった／一部のアプリを起動できない	メモリの空き容量がなくなると動作が安定しません。空き容量が少なくなったら、不要なアプリを削除してメモリの空き容量を確保してください。	P.29
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、電話帳の着信設定は有効になりません。また、電話帳のグループ着信設定は有効になりません。	－
	同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？	P.36
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？	P.58
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.68
カメラが動作しない	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	P.21
緊急通報ができない	指定のSIMカードが挿入されていますか？	P.20
	指定のSIMカード以外のカードをご利用になっていませんか？	－
	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.29

アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客さまのご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客さまが新規ご購入された日より1年間です。

memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益に関して、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、アフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収リサイクルを行います。そのため、お客さまへ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リパースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 電池パックは消耗品のため、保証対象外となります。
- ◎ 本製品の本体以外の正面スクリーンなどの付属品や試供品は無償修理保証の対象外です。

補修性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

無償修理規定

- 修理受付時は、製造番号（IMEI番号）の情報をお知らせください。製造番号（IMEI番号）は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
 - 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
 - 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。（または、修理ができない場合があります。）
 - ①取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - ②不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - ③当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - ④使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
 - ⑤地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
 - 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
 - 製品の機器が故障したことにより、発生した損害および損失利益に関しては負担いたしません。
 - 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
 - 出張による修理対応はお受けできません。
 - 本規定は、日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）
- ※ 本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

故障紛失サポート with Cloudについて

au／UQ mobileの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート with Cloud」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。月額利用料およびサービスの詳細については、au／UQ mobileホームページをご確認ください。

- auをご契約のお客さま
<https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu-cloud/>
 - UQ mobileをご契約のお客さま
<https://www.uqwimax.jp/mobile/plan/option/repair-cloud/>
- ※ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

au ICカード（SIMカード）について

au ICカードは、auからお客さまにお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、au Style／auショップもしくはトヨタ au取扱店までお問い合わせください。

遠隔操作サポート

遠隔操作サポートを利用する

スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客さまのスマートフォンの画面を共有し、お客さまの操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

※ ご利用にあたっては使い方サポートまたは、auスマートサポート、auスマートパスプレミアム、auスマートパス、故障紛失サポート／故障紛失サポート with Cloud等のいずれかにご加入いただくことでご利用いただけます。
詳しくはauホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/service/support-enkaku/>

1 お客さまセンター、使い方サポートセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパスプレミアム・auスマートパス会員は局番なしの157番（au／UQ mobile電話から／通話料無料）、☎0077-7-111（一般電話から／通話料無料）までご連絡ください。

使い方サポート会員は、専用アプリからご予約、または☎0120-984-955（一般電話から／通話料無料）までご連絡ください。

auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 ホーム画面を上からスワイプ→[auサービス]→[遠隔操作サポート]

初回起動時には許可画面或使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

3 オペレーターの指示に従って操作

位置検索サポート

位置検索サポートについて

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客さまのパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索をすることができます。

※ 本製品を遠隔操作で位置検索する場合は、auスマートサポートまたはauスマートパス、auスマートパスプレミアム、故障紛失サポート／故障紛失サポート with Cloud、使い方サポート、安心サポートバック等のいずれかへの加入が必要です。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供した位置情報に起因する損害および逸失利益に関して、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

また、サービスエリア内でも地下街など、電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。

SIMロック解除

本製品にはSIMロックはされておりません。

他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。詳しくは、auホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/>

周辺機器

- 電池パック (KYG03UAA)
- 背面カバー (KYG03TRA, KYG03TKA)
- 正面スクリーン (KYG03KGA)
- USBカバー (KYG03WHA)
- TypeC共通ACアダプタ01 (0601PQA) (別売)
- TypeC共通ACアダプタ02 (0602PQA) (別売)
- MicroB-TypeC変換アダプタ (0601PHA) (別売)
- 共通ACアダプタ05 (0501PWA) (別売)*
- 京セラ3.5φ Type-C変換ケーブル (0401QNA)
- auキャリングケースGブラック (0106FCA) (別売)

* ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ (別売) が必要です。

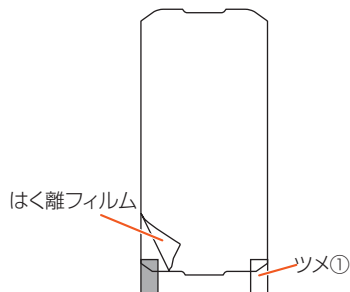


◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。商品によってはお取り扱いを終了している場合がございます。
<https://onlineshop.au.com/>

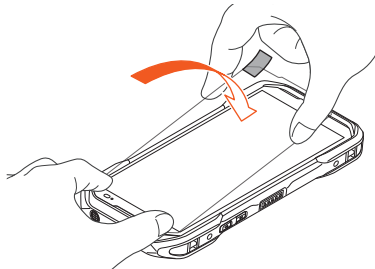
正面スクリーン (KYG03KGA) の交換のしかた

ディスプレイ (タッチパネル) 保護のために正面スクリーンが貼られています。正面スクリーンは破損したときや、古くなったときに交換することができます。

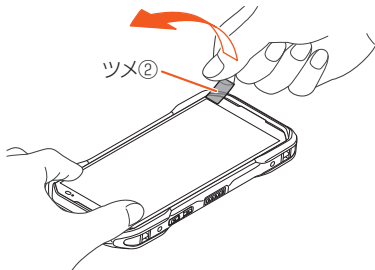
- 1 本体表面に貼ってある正面スクリーンをはがし、ディスプレイの汚れや油分を付属のクリーニングクロスで拭き取る
- 2 ツメ① (透明) を持って、裏面のはく離フィルムをはがす



- 3 ディスプレイ (タッチパネル) 面に正面スクリーンをあて、ディスプレイとの位置を合わせ左右のケースに乗り上げないよう、気泡が入らないように、ゆっくりと貼る
- ・ 正面スクリーンに気泡が残った場合は、気泡をクリーニングクロスで押し出したり、正面スクリーンを貼り直したりしてください。



- 4 ツメ② (青色) を持って、表面のはく離フィルムをはがす



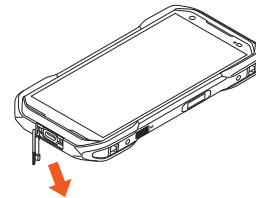
- 5 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[システム]→[近接センサー感度補正]→[開始]→[OK]
- ・ 画面上部1mに障害物がない状態で実施してください。
- ・ 屋外や直射日光が当たる場所では実施しないでください。
- ・ 補正中は端末操作をしないでください。



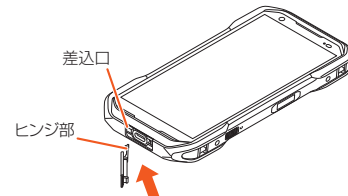
- ◎ 正面スクリーンをはがすには、本製品に傷がつかないように注意しながら先端の細い物で正面スクリーンの上下いすれかの端を浮かせ、慎重に持ち上げることで正面スクリーンをはがすことができます。
- ◎ 貼る際は隙間が片寄ることのないよう十分ご注意ください。
- ◎ 吸着面を触ったり、ものに触れさせないようにご注意ください。また、万一ほこりなどが付着した場合はセロハンテープなどで取り除いてください。
- ◎ 貼り付け時のミス (ゆがみ、気泡など) や正面スクリーンをはがす際のディスプレイ (タッチパネル) の破損、損傷などについては責任を負いかねます。
- ◎ 正面スクリーンをはがす際に、ディスプレイに硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。

USBカバー (KYG03WHA) の交換のしかた

- 1 USBカバーを開けて、引き抜く
- 必ず矢印の方向に合わせて引き抜いてください。無理な方向に引っ張ると、USBカバーが破損するおそれがあります。



- 2 USBカバーのヒンジ部の先端を、差込口に差し込む
- 必ず矢印の方向に合わせて、奥まで差し込んでください。無理な方向に強く差し込むと、USBカバーが破損するおそれがあります。



主な仕様

■ 本体

ディスプレイ	5.4インチ、約1,677万色、有機EL 1,080×2,160ドット(FHD+)
重量	約234g
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約75×154×14.6mm (最厚部 約16.7mm)
内蔵メモリ容量 ^{※1}	ROM:約128GB RAM:約6GB
連続通話時間	国内 約1,820分
連続待受時間	国内 約390時間
Wi-Fi [®] テザリング最大接続数	15台
充電時間(目安)	TypeC共通ACアダプタQ2(別売) 約140分
カメラ撮像素子	CMOS
アウトカメラ有効画素数	約6,400万画素
ワイドカメラ有効画素数	約1,600万画素
マクロカメラ有効画素数	約200万画素
インカメラ有効画素数	約800万画素
無線LAN(Wi-Fi [®])機能	IEEE802.11 a/b/g/n/ac/ax準拠
Bluetooth [®] 機能	対応バージョン Bluetooth [®] 標準規格Ver.5.2準拠 ^{※2}
	出力 Bluetooth [®] 標準規格Class 1
	通信距離 ^{※3} 見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル・機能 ^{※4} GATT(Generic Attribute Profile) SPP(Serial Port Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) OPP(Object Push Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) HID(Human Interface Device Profile) PAN(Personal Area Networking Profile) PAN-NAP(Personal Area Networking-Network Access Point) PAN USER(Personal Area Networking-User) HOGP(HID over GATT Profile) apt-X apt-X HD Bluetooth SSP MAP(Message Access Profile) AAC LDAC
	使用周波数帯 2.4GHz帯

- ※1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。
- ※2 本製品およびすべてのBluetooth[®]機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth[®]標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
- ※4 Bluetooth[®]機器ごとの使用目的に応じた仕様のごとで、Bluetooth[®]標準規格で定められています。



memo

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

未

この機種KYG03の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定められており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は◆◆◆W/kg^(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は◆◆◆W/kg^(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもあります。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用を原因とするいかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ:
<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ:
<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
- auのホームページ:
<https://www.au.com/mobile/product/sar-list/>

- ※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
- ※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.



FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

FCC Certification Information

- The product is certified by Federal Communications Commission (FCC). The product's FCC ID is JOYEB1157.

You can view this certification in the following way.

How to confirm:

Swipe upward on the Home screen, [Settings] → [About phone] → [Compliance information]

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客さまの責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



Google, Android, Google Play, YouTube, およびその他のマークはGoogle LLCの商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows® 8.1/Windows® 10は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Microsoft® Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®、Microsoft® Excel®, Microsoft® PowerPoint®, Windows Media®, Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。Microsoft® Word, Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD, microSDHC, microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

WiMAXは、WiMAXフォーラムの商標です。

Wi-Fi®, WPA™, WPA2™, WPA3™, Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Direct®, Miracast®はWi-Fi Allianceの登録商標です。Wi-Fi CERTIFIED™はWi-Fi Allianceの商標です。

「Qi(チー)」及びQiシンボルはワイヤレスパワーコンソーシアム(WPC)の商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはMeta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。

MessengerおよびMessengerロゴはMeta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。

InstagramおよびInstagramロゴはMeta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。

Amazon, Amazon.co.jpおよびAmazon.co.jpロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標です。

Netflixは、Netflix, Inc.の登録商標です。

TikTokの名称およびロゴは、ByteDance Ltd.もしくはその関連会社の商標または登録商標です。

Terminal Eleven, Terminal Elevenロゴ及びSkyView®は、Terminal Eleven LLC.の米国における登録商標です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).

- (1) ACCESS, ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- (2) 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

「デイレースステップ」、「TORQUE」、「ハイブリッドシールド」、「HYBRID SHIELD(ロゴ)」、「ウェットタッチ」、「グローブタッチ」、「ACTION OVERLAY」、「みんすび」は京セラ株式会社の登録商標です。

画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Rapid Effect」を採用しております。「Morpho Rapid Effect」は株式会社モルフォの商標です。

USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。

本製品は下記URLに掲載されているHEVC特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。

patentlist.accessadvance.com

その他本文中に記載されている社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ OpenSSL License

[OpenSSL License]

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SSLeay License]

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客さまに使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点にご注意ください。

- (a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
- (b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
- (c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの默示の保証を行うものではありません。

ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。

なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「デバイス情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。

本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客さまは京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■ 診断および使用状況データの記録

京セラ株式会社では、製品とサービスの品質の向上のために、お客さまのご協力をお願いしています。京セラ株式会社は、予期しないシャットダウンやシステムエラーなどの診断イベントを追跡して対処し、品質とサービス向上を目的として、お客さまの端末の故障診断および使用状況データ（お客さまによるアプリケーションの使用状況情報、エラーに関するログ情報、およびお客さまによるアプリケーションの使用に関する詳細情報（特定の機能、使用頻度、メモリ／電池の使用状況））を端末内に記録、保存しております。これらの情報はお客さまより端末の修理依頼があった際に、お客さまの同意の上収集することがあります。

索引.....	92
---------	----

索引

記号／数字／アルファベット

＋メッセージ	
グループ	42
公式アカウントの登録	42
設定	42
送信	42
ブロックリスト	43
モード	42
利用方法の確認	42
連絡先の登録	42
5Gサブアンテナ部	18
5Gメインアンテナ部	18
Action Overlay	50
au国際電話サービス	35
au世界サービス	80
お問い合わせ方法	80
データ通信	80
auのネットワークサービス	73
英語ガイド	76
遠隔操作サービス	76
応答メッセージ	76
お留守番サービスEX	75
お留守番サービス総合案内	75
三者通話サービス	77
蓄積停止	76
着信お知らせサービス	74
着信転送サービス	74
通話明細分計サービス	77
伝言お知らせ	75
伝言録音	75
日本語ガイド	76
発信番号表示サービス	74
番号通知リクエストサービス	75
フル転送	74
ボイスメール	75
無応答転送	74
迷惑電話撃退サービス	77
留守伝言再生	76
割込通話応答	77
割込通話サービス	77
auメール	40
初期設定	40
迷惑メールフィルター	40
利用方法の確認	40
Barometer	54
Bluetooth®機能	62
機器登録	62
起動	62
注意	15
データの送受信	62
ペア設定コード	62
ペアリング	62
Chrome	46
Webページの表示	46
Compass	54
Files	59
Gmail	43
Google	70
Google Play	53
Google TV	51
Google アカウント	23
Google マップ	53
Keep メモ	55
Meet	53
microSDメモリーカード	58
初期化	59
取り付け	58
取り外し	58
My au	52
NFC (FeliCa®対応) アンテナ部	18
Outdoor Portal	27
PINコード	15
変更	69
PINロック解除コード	15
Sailor's Log	54
SAR	87
SIMカード	20
取り付け	20
取り外し	21
SIMカード／microSDメモリーカードトレイ	18
SIMロック解除	85
Solunar	55
Sun&Moon	54
Tide	54
UQ mobileメール	41
USB Type-Cケーブル(市販品)	

接続	22, 59
USBカバー	18
VPN設定	66
Wi-Fi®	62
起動	62
接続	63
切断	63
注意	15
ネットワークを追加	63
Wi-Fi Direct®	63
YouTube	53

あ

アウトカメラ(レンズ部)	18
アカウント	70
アカウントを削除	70
アカウントを追加	70
同期	70
あとから録音	34
アフターサービス	85
アプリ一覧	
メニュー	28
アプリ権限設定	16
アラーム	54
暗証番号	15
あんしんフィルター for au	52
安全上のご注意	6
インカメラ(レンズ部)	18
インターネット	46
おサイフケータイ®	51
ご利用にあたって	51
音の設定	68
音量調節	68
操作音	68
マナーモード	30
音声レコーダー	56
音量上／下ボタン	18

か

海外利用	80
お問い合わせ方法	80
海外ローミング	80
外部接続端子	18
各部の名称と機能	18
壁紙	27
カメラ	
画面の見かた	49
撮影モード	50
静止画撮影	50
設定	49
動画撮影	50
カメラボタン	18
画面の固定	29
カレンダー	54
機内モード	66
基本操作	26
近接センサー	18
クイック起動エリア	27
携帯電話機の比吸収率(SAR)	87
故障とお考えになる前に	84
故障紛失サポート with Cloud	85

さ

最近使用したアプリ	29
撮影ライト／ライト	18
自分の電話番号	35
指紋認証	31
充電	21
充電ランプ	18, 29
周辺機器	86
受話部(レシーバー)／スピーカー	18
仕様	87
シンプルホーム	28
ズームイン／ズームアウト	26
スクリーンショット	30
スタート画面	23
ステータスアイコン	29
ステータスバー	29
ステップアップ着信	35
ストラップ取付口	18
ストレージ	59
ストレージの設定	68
スライド	26
スリープモード	23
スワイプ	26
設定メニュー	66
送話口(マイク)／スピーカー／気圧センサー	18
ソフトウェア更新	84

ご利用上の注意.....	84
ダウンロード.....	84

た

ダイレクトボタン.....	18
タッチパネル.....	26
タップ.....	26
ダブルタップ.....	26
着信拒否.....	67
着信(充電)ランプ.....	18
着信ランプ.....	29
通知アイコン.....	29
通知パネル.....	29
通話音声メモ.....	34, 67
通話履歴.....	34
ディスプレイ(タッチパネル).....	18
ディスプレイの設定.....	68
自動回転.....	26
デイリーステップ.....	56
データ通信.....	46
注意.....	16
データの初期化.....	71
テザリング.....	63
Bluetooth®テザリング.....	63
USBテザリング.....	63
Wi-Fi®テザリング.....	63
電源ボタン/指紋センサー.....	18
電源を入れる.....	22
電源を切る.....	22
伝言メモ.....	35
電卓.....	54
電池バック.....	18
電池ロック.....	18
電話.....	33
SMSで返信.....	35
受ける.....	35
かける.....	34
設定.....	67
電話帳.....	36
インポート.....	37
エクスポート.....	37
お気に入り.....	36
グループ.....	36
削除.....	36
作成.....	36
電話をかける.....	36
登録.....	36
編集.....	36
時計.....	54
ドラッグ.....	26
取り扱い上のご注意.....	10

な

内蔵Bluetooth®/Wi-Fi®アンテナ部.....	18
内蔵GPSアンテナ部.....	18
内蔵サブアンテナ部.....	18
内蔵メインアンテナ部.....	18

は

背面カバー.....	18
光センサー.....	18
日付と時刻.....	71
表記方法.....	1
フォト.....	51
プザー.....	55
不在着信通知.....	35
フリック.....	26
プロフィール.....	35
ホームアプリ.....	28
ホーム画面.....	27
アプリ.....	27
ウィジェット.....	27
フォルダ.....	27
保存領域.....	58
ボディカメラボタン.....	18

ま

マイク.....	18
マクロカメラ(レンズ部).....	18
マップ.....	53
マナーモード.....	30
マルチウィンドウ.....	29
みんスピ.....	55
メール.....	
+メッセージ.....	42
auメール.....	40
Gmail.....	43

文字入力.....	32
絵文字入力.....	32
顔文字入力.....	32
記号入力.....	32
切り取り.....	32
コピー.....	32
単語リスト.....	32
貼り付け.....	32

ら

ライト.....	56
リーダー/ライター.....	51
レシーバー.....	18
ロックノブ.....	18
ロングタッチ.....	26

わ

ワイドカメラ(レンズ部).....	18
ワイヤレス充電アンテナ接続端子.....	18
ワイヤレス充電アンテナ部/充電接点部.....	18
ワイヤレス充電台.....	22
ワイヤレス充電部.....	18

<au をご契約のお客さま>

au サポート

アプリ・Web サイト

■ My au アプリ

ご利用料金、ポイント、ご契約内容などの確認や、各種お手続きができます。

※povo をご利用のお客さまは、povo2.0 アプリ / povo1.0 アプリでのご確認になります。



ダウンロードは
コチラ



URL <http://kddi-l.jp/mFH>

■ auサポート (web)

困ったときに役に立つ各種サポート情報をご案内しています。

URL <http://kddi-l.jp/Gf9>



メッセージ

ご相談はいつでもどこでもチャットでかんたん！

AI が 24 時間素早く回答、アドバイザーが詳しくお応えします。

URL <http://kddi-l.jp/Bz6>



<UQ mobile をご契約のお客さま>

UQ mobile サポート

アプリ・Web サイト

■ My UQ mobile (アプリ)

データ残量、ご請求額、各種サービスの加入状況を確認できます。



ダウンロードは
コチラ



URL <http://kddi-l.jp/F37>

■ UQ mobileサポート (web)

困ったときに役に立つ各種サポート情報をご案内しています。

URL <http://kddi-l.jp/jQX>



チャット

ご相談はいつでもどこでもチャットでかんたん！

AI が 24 時間素早く回答、アドバイザーが詳しくお応えします。

URL <http://kddi-l.jp/j9z>



故障紛失サポート / 故障紛失サポート with Cloud 会員向けサービス

故障紛失サポートセンター (年中無休 / 通話料無料)

au携帯電話 / UQ mobile / 一般電話から

故障相談・交換用電話機お届けサービス受付
(受付 9:00~20:00)



0120-925-919



やめましょう、
歩きスマホ。



有害サイトから
子供を守る！



キケン！
水ぬれ充電



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHS のリサイクルにご協力。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず、マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。



あぶない！
電池への衝撃